

特定非営利活動法人  
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

# 2017 年度法人総会 議案書



※写真（左上から時計回りに）

総会記念電力自由化ワークショップの様子（5/29）／江戸川区環境フェア 2016 出展の様子（6/4）／福島県の高校生との交流＝ソーラークッカーづくり（8/19）／えど・そら3号機お披露目式（1/29）

- 第1号議案 2016 年度事業報告
- 第2号議案 2016 年度会計決算報告
- 第3号議案 2017 年度事業計画（案）
- 第4号議案 2017 年度会計予算（案）
- 第5号議案 2017～2018 年度役員（案）

2017 年 6 月 4 日 10:30～11:30  
タワーホール船堀 302 会議室

## 第1号議案 2016年度事業報告

気候変動対策をめぐるのは、世界の全ての国々が参加する枠組みである「パリ協定」が合意からわずか1年で発効し、世界的な自然エネルギーの普及拡大と相まって、新たな時代に突入した。パリ協定離脱と化石燃料重視を掲げるアメリカ・トランプ政権の誕生がパリ協定の実効性を揺るがしかねないとの懸念はあるものの、世界的なエネルギーシフトの動きを変えることはできない情勢にある。旧態依然とした原発維持と石炭火力拡大をエネルギー政策の基本に据える日本政府は、こうした動きから着実に取り残されつつある。

本会は、気候変動対策の影響が少ない地域社会づくりに向けて、えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”3号機の建設・発電にこぎ着け、所有する施設の合計発電出力が50kWに達した。また、売電先を東京電力からみんな電力株式会社に切り替えることができた。そして、従来の市民・地域側の動きに連携しつつ、新たな省エネアクションの可能性探求に向けた戦略会議の呼びかけや近隣の市民電力団体との交流、シンポジウム等への参加などを通じて、20周年以降に向けた新たな展開への準備を着実に進める1年となった。

### ●特定非営利活動に係る事業

#### 1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会に参加し省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わった。新たな省エネアクションの可能性について探るため、「全国節電所フォーラム2015」実行委員会参加団体に、市民側による戦略会議開催を呼びかけた。

<自己評価>

省エネアクションの可能性について江戸川区やえどがわエコセンターに働きかけることができなかった。エコタウンえどがわ推進計画の見直しなどの機会を探りたい。

#### 2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

2016年5月に開催した定期総会において、みんな電力株式会社大石社長を講師に電力自由化をテーマとした講演&WSを開催したほか、江戸川区環境フェアへの出展(6月)、福島高校生の視察受け入れ(8月)を通じて啓発教育を行った。また、他団体が主催するセミナーや学習会への講師派遣を11回行った。

<自己評価>

外部からの視察受け入れや講師派遣は堅調だが、地域の方々に地球温暖化やエネルギー問題について理解を深めてもらうため、人材づくりを踏まえた自主企画事業の企画・実施が必要である。

#### 3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”3号機の発電開始に伴い、出資者を対象としたお披露目会を2017年1月に開催すると共に、2月には早稲田大学からのヒアリング調査を受け入れた。また、「自然エネルギーを進める我孫子の会」に発電所建設に向けたアドバイスをを行った。しかし、発電事業について地域の理解を広げるためのPR用グッズ整備には至らなかった。

<自己評価>

発電事業に対する理解を広げるため、環境フェアなどで使えるPR用グッズを整備していく必要がある。

#### 4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

気候ネットワークやeシフト、市民電力連絡会、グリーン連合などが企画・主催する政策提言活動に参加してきた。また、2016年4月には都議会議員団への出講において都内におけるエネルギーの地産地消モデルを示唆することができた。しかし、エコタウンえどがわ推進計画の充実に向けた江戸川区やえどがわエコセンターへの働きかけはできなかった。

#### <自己評価>

エコタウンえどがわ推進計画の二次目標年終了が近づく中で、省エネアクションと同様に中期的な政策提言に向けた機会をとらえ、提言していく必要がある。

### 5. 国内外で開催される、気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワークやストップフロン全国連絡会の運営に理事として参画すると共に、パワーシフトキャンペーンの活動に参加してきた。また、2016年9月には「東アジア気候フォーラム2016」に参加し、石炭火力の抑制など東アジア特有の気候変動対策について学ぶことができた。

#### <自己評価>

地域における地球温暖化対策の重要性を訴えるため、今後も会議への参加やキャンペーンの実施について積極的に参加する必要がある。

### 6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

町田自然エネルギー協議会設立シンポジウム(6月)やいちかわ電力コミュニティ設立フォーラム(2月)に参加し、近隣の市民電力団体と交流することができた。パタゴニア丸の内ストアとの提携では投票キャンペーン(7月)に協力することができた。また、エコメッセ元気力発電所、さようなら原発江戸川連絡会、えどがわエコセンター、市民・地域共同発電所全国フォーラムの運営に参画しつつ、オフグリッドハウス松江の家の運用では江戸川子どもおんぶずと連携してきた。

#### <自己評価>

諸団体との交流が広がる中で、具体的なアクションに向けた提携につなげていく必要がある。

### 7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

ホームページとフェイスブックの連動による時宜に適した情報発信に努めてきたが、『あしもと通信』の発行は3号にとどまった。調査研究および情報収集では、「ソーラーシェアリングサミット2016 in 上田」への参加(9月)、市民電力連絡会による中之条電力視察への参加(10月)、京都大学シンポジウムへの参加(11月)、「環境省日独自体エネルギー転換WS」(2月)への参加を通じて内外の最新知見が得られた。また、設立20周年事業について企画準備を進めてきた。

#### <自己評価>

『あしもと通信』発行が2年続けて3号にとどまり、季刊を維持できない状況にある。会の運営体制を踏まえた発行回数の変更を検討する必要がある。

## ●その他の活動に係る事業

### 1. 発電にかかる事業

概ね想定通りの発電量を確保できた。3号機の建設では、無分配出資+小松川信金からの融資という新たな資金調達モデルを構築し、12月に発電を開始した。また、売電先の東京電力からの切り替えでは「みんな電力株式会社」との協議を進めてきた結果、3月末日までに切り替え手続きを終了した。一方で、借入金償還に向け提供する消費財やサービスなどのメニュー開発には至らなかった。

#### <自己評価>

借入金償還に向け提供する消費財やサービスなどのメニュー開発を具体化する必要がある。

## 2016年度 事業活動日誌

- 4月20日 ●第1回運営委員会
- 4月21日 ◇「あつぎ環境市民の会」学習会に出講
- 4月26日 ◇日本共産党都議団に出講
- 4月27日 みんな電力(株)と売電契約について打ち合わせ
- 5月16日 ●第2回運営委員会
- 5月29日 足温ネット2016年度総会&学習会を開催
- 6月02日 グリーン連合第2回総会&1周年記念シンポジウムに参加
- 6月04日 江戸川区環境フェア2016に出展
- 6月21日 ●第3回運営委員会
- 6月25日 町田自然エネルギー協議会設立シンポジウムに参加
- 6月30日 ※『あしもと通信』Vol.83を発行
- 7月02日 ◇パタゴニア丸の内ストア投票キャンペーンに出講
- 7月09日 ◇生活クラブ生協トップリーダー講座に出講
- 7月20日 ●第4回運営委員会
- 7月24日 市川電力準備会シンポジウムに出席
- 7月30日 ◇「利根町のちをつなぐ会」学習会に出講  
「自然エネルギーをすすめる我孫子の会」と懇談
- 8月19日 福島県の高校生視察(東京YWCA事業)を受入れ  
板取ツアーに参加(～22)
- 8月27日 「首都圏市民電力交流会 in 川崎」に出講
- 9月03日 「ソーラーシェアリングサミット2016 in 上田」に参加
- 9月12日 ●第5回運営委員会
- 9月15日 えど・そら3号機融資に向け、東京都信用保証協会と打ち合わせ
- 9月24日 東アジア気候フォーラム2016(京都市)に出席
- 10月14日 みんな電力(株)と売電契約について打ち合わせ
- 10月19日 ●第6回運営委員会
- 10月21日 市民電力連絡会・連続講座「中之条電力」視察に参加
- 10月29日 えどがわエコセンター・非電化工房バスツアーに参加
- 10月31日 えど・そら3号機建設に向けて小松川信用金庫との融資契約に調印
- 11月01日 ※『あしもと通信』Vol.84を発行
- 11月11日 京都大学シンポジウム「再生可能エネルギーによる地域再生」に参加
- 11月15日 ●第7回運営委員会
- 11月24日 「さようなら原発江戸川連絡会」総会に出席
- 12月05日 FM えどがわに出演
- 12月07日 ◇「江戸川総合人生大学」に出講
- 12月08日 えど・そら3号機発電開始!
- 12月11日 「えどがわ子どもおんぶず」松江の家オープンデーに参加
- 12月13日 ●第8回運営委員会
- 12月22日 小松川市民ファーム忘年会に参加
- 1月12日 ◇「江戸川・生活者ネットワーク」議会報告会に出講
- 1月14日 生活クラブ生協東京・小金井市環境楽習館見学会に参加
- 1月18日 環境首都創造フォーラム(山口県宇部市)に参加(～19)
- 1月23日 ●第9回運営委員会
- 1月29日 えど・そら3号機お披露目会を開催
- 2月08日 環境省「日独自治体エネルギー転換ワークショップ」に参加
- 2月10日 市民電力連絡会総会&NPO法人設立記念フォーラムに参加
- 2月18日 いちかわ電力コミュニティ NPO法人記念フォーラムに参加
- 2月20日 ◇早稲田大学社会科学総合学院からのヒアリング調査を受け入れ  
●第10回運営委員会
- 2月25日 ◇「中野・環境市民の会」学習会に出講
- 3月02日 ◇「川崎地域エネルギー市民協議会」総会に出講
- 3月15日 ※『あしもと通信』Vol.85を発行
- 3月27日 ●第11回運営委員会
- 3月30日 みんな電力(株)に電力供給開始

## 第2号議案 2016年度会計決算報告

### 1) 活動計算書

(単位:円)

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
売電売上	0	1,581,941	1,581,941
会員会費収入	23,000		23,000
寄付金収入	12,442		12,442
講師派遣収入	140,000		140,000
その他収入	66,948	92	67,040
受取利息	30	31	61
経常収益計	242,420	1,582,064	1,824,484
II 経常費用			
1.事業費			
会議費	50,380	4,560	54,940
旅費交通費	12,180	0	12,180
通信費	0	0	0
備品消耗品費	35,099	0	35,099
修繕費	35,000	0	35,000
電気料金	0	13,864	13,864
諸会費	42,000	0	42,000
支払手数料	0	2,864	2,864
地代家賃	0	43,800	43,800
租税公課	0	12,100	12,100
支払報酬	0	32,400	32,400
教材費	47,000	0	47,000
印刷費	0	0	0
減価償却費	0	1,115,891	1,115,891
支払利息	0	79,410	79,410
			0
2.管理費			0
会議費	1,000	1,000	2,000
旅費交通費	6,200	6,200	12,400
通信費	39,840	39,840	79,680
事務用品費	3,839	3,840	7,679
支払手数料	5,283	5,283	10,566
地代家賃	18,000	18,000	36,000
支払報酬料	86,400	86,400	172,800
印刷費	11,701	11,701	23,402
経常費用計	393,922	1,477,153	1,871,075
当期経常増減額	-151,502	104,911	-46,591
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			-46,591
法人税、住民税及び事業税			70,009
当期正味財産増減額			-116,600
前期繰越正味財産			1,595,442
次期繰越正味財産			1,478,842

## 2) 貸借対照表

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金	0	
普通預金	3,564,041	
売掛金	179,288	
仮払金	43,200	
流動資産合計		3,786,529
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
機械装置	12,079,313	
有形固定資産計	12,079,313	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産		
出資金	50,000	
長期貸付金	20,000	
投資その他の資産計	70,000	
固定資産合計		12,149,313
資産合計		15,935,842
<b>II 負債合計</b>		
1. 流動負債		
未払金	42,000	
未払法人税等	70,000	
流動負債計		112,000
2. 固定負債		
えど・そら債	11,500,000	
こましん融資	2,845,000	
固定負債合計		14,345,000
負債合計		14,457,000
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		1,595,442
当期正味財産増減額		-116,600
正味財産合計		1,478,842
負債及び正味財産合計		15,935,842

### 3) 財産目録

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
手元現金	0	
普通預金		
三菱東京UFJ銀行 小松川支店	193,248	
小松川信用金庫 菅原橋支店	1,062,978	
ゆうちょ銀行 振替口座	467,815	
こましん定期積立	1,840,000	
売掛金		
市民立第1第2発電所売電料	179,288	
仮払金(弥生会計ソフト代金)	43,200	
流動資産合計		3,786,529
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
機械装置(太陽光パネル4ヶ所)	12,079,313	
有形固定資産計	12,079,313	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産		
出資金(小松川信用金庫)	50,000	
長期貸付金	20,000	
(省エネ家電買換サポート融資)		
投資その他の資産計	70,000	
固定資産合計		12,149,313
資産合計		15,935,842
<b>II 負債合計</b>		
1. 流動負債		
未払金		
事務所家賃及びインターネット使用料	42,000	
未払法人税等	70,000	
流動負債計		112,000
2. 固定負債		
えど・そら債 1号	5,000,000	
えど・そら債 2号	4,000,000	
えど・そら債 3号	2,500,000	
こましん えどそら3号融資	2,845,000	
固定負債合計		14,345,000
負債合計		14,457,000
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	1,595,442	
当期正味財産増減額	-116,600	
正味財産合計		1,478,842
負債及び正味財産合計		15,935,842

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

2017年5月19日

監事

大栗ひろみ 



## 第3号議案 2017年度事業計画案について

### ★脱原発・低炭素社会に向けた可能性の実践と発信

パリ協定発効に伴う世界的な気候変動対策の動きが活発となり、そうした動きに背を向ける日本政府の下で、本会は、気候変動対策の影響が少ない地域社会づくりに向けた新たな役割を担うことが求められている。一方、近年の活動の中で、パタゴニア丸の内ストアをはじめとして、みんな電力株式会社、市民発電団体などとの交流・連携が活発になりつつある。新たな役割を担うには、こうした団体との連携が不可欠である。

本年度は、本会が設立して20周年である。20周年記念イベントや「みえない発電所づくり市民戦略会議」の開催などを通じて、新たな役割を再認識すると共に、一緒に担ってくれる人材を地域から見出し、これからの活動の基礎を築く1年としたい。また、江戸川区のエコタウンえどがわ推進計画の第二次目標の目標年が本年で終了することから、次期計画づくりに積極的に関わり、提言していくものとする。

### ●特定非営利活動に係る事業

#### 1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会に参加し省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わると共に、新たな省エネアクションの可能性について探る「みえない発電所づくり市民戦略会議」を開催し、社会実装に向けた課題を検討していく。

#### 2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

6月には江戸川区環境フェアに出展し、参加者に対する気候変動問題やエネルギー問題への啓発を行うと共に、次のアクションの具体化に向けて6月に設立20周年記念イベント「えどがわみらいカフェ」を開催する。また、福島高校生によるエネフェス企画（東京YWCA）への参画や江戸川総合人生大学への出講など、他団体が主催する学習会への講師派遣を積極的に行う。

#### 3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

市民立発電所やえどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”への視察を積極的に受け入れる。11月開催予定の市民・地域共同発電所全国フォーラム実行委員会に参画し、市民発電事業の普及・拡大に資する。また、市民発電事業について地域の理解を広げるためPR用グッズを整備する。

#### 4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

気候ネットワークやeシフト、市民電力連絡会、グリーン連合などが企画・主催する政策提言活動に参加していく。また、江戸川区地域エネルギービジョン「エコタウンえどがわ推進計画」の二次目標年終了に伴う新たな計画づくりに参画していく。

#### 5. 気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワークやストップフロン全国連絡会の運営に理事として参画すると共に、それらを含む団体が主催する、気候変動対策キャンペーンや再生可能エネルギーの普及拡大に向けた「パワーシフトキャンペーン」の活動に参画していく。

#### 6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

パタゴニア丸の内ストアとは自立電源づくりWSや環境フェア出展、設立20周年記念イベントの開催を通じて交流・連携を深めていく。また、エコメッセ元気力発電所、さようなら原発江戸川連絡会、えどがわエコセンターの運営に参画しつつ、オフグリッドハウス松江の家の運用では江戸川子どもおんぶずと連携していく。



## **7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供**

当会の事業目的や活動状況を広く知ってもらうため、ホームページとフェイスブックの連動による時宜に適した情報発信に努めると共に、『あしもと通信』の計画的な発行を進める。社会团体などとの交流等を通じて情報を収集に努め、必要な知見の蓄積を行う。

### **●その他の事業**

#### **1. 発電にかかる事業**

売電先の切り替えに伴い、みんな電力株式会社との事業連携を強め、作られた再生可能エネルギー発電による電気が実際に使われ、気候変動対策に貢献することを示していく。借入金の償還に向けて提供する消費財・サービスなどのメニュー開発を進めていく。

第4号議案 2017年度予算案について  
活動計算書

(単位:円)

	非営利活動に 係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
売電売上	0	1,700,000	1,700,000
会員会費収入	60,000		60,000
寄付金収入	10,000		10,000
講師派遣収入	200,000		200,000
その他収入	150,000		150,000
受取利息	50	50	100
経常収益計	420,050	1,700,050	2,120,100
II 経常費用			
1.事業費			
会議費	0	0	0
旅費交通費	13,000	0	13,000
通信費	0	0	0
備品消耗品費	0	0	0
修繕費	0	0	0
電気料金	0	15,000	15,000
諸会費	40,000	0	40,000
支払手数料	0	0	0
地代家賃	0	43,800	43,800
租税公課	0	0	0
支払報酬	0	32,400	32,400
教材費	40,000	0	40,000
印刷費	0	0	0
減価償却費	0	1,425,357	1,425,357
支払利息	0	80,000	80,000
			0
2.管理費			0
会議費	1,000	1,000	2,000
旅費交通費	7,000	7,000	14,000
通信費	30,000	30,000	60,000
事務用品費	5,000	5,000	10,000
支払手数料	6,000	6,000	12,000
地代家賃	18,000	18,000	36,000
支払報酬料	86,400	86,400	172,800
印刷費	15,000	15,000	30,000
経常費用計	261,400	1,764,957	2,026,357
当期経常増減額	158,650	-64,907	93,743
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			93,743
法人税、住民税及び事業税			70,009
当期正味財産増減額			23,734
前期繰越正味財産			1,478,842
次期繰越正味財産			1,502,576

※返済積立金として1,000,000円を積み立てる予定である。

## 第5号議案 2017～18年度役員案について

	役名	(フリガナ) 氏 名	住 所 又 は 居 所	備 考	再新
1	理事	ナラ ユキ 奈良 由貴	東京都江戸川区臨海町2丁目2番8号 504号		再
2	理事	ヤマザキ モトヒロ 山崎 求博	東京都江戸川区中葛西7丁目7番8号 ダイアパレス葛西II504号室	事務局長	再
3	理事	オオコウチ ヒデヒト 大河内 秀人	東京都江戸川区東小松川2丁目5番12号		再
4	理事	ヤナギザワ イチロウ 柳澤 一郎	東京都江戸川区東小岩4丁目6番10号		再
5	理事	フジイ アキコ 藤居 阿紀子	東京都江戸川区清新町1丁目4番15号 シティコープ清新706号室		再
6	監事	タテオカ ケイコ 館岡 景子	東京都江戸川区瑞江2丁目33番5号		新

